

殺菌剤

協友

ゲッター®水和剤

ジエトフェンカルブ…………… 12.5%
チオファネートメチル…………… 52.5%

種類名/ジエトフェンカルブ・
チオファネートメチル水和剤
農林水産省登録/第23366号
毒性/普通物*
有効年限/4年
包装/100g×100、500g×20

特 長

- 予防効果、治療（病斑進展阻止）効果を有します。
- 灰色かび病と混発する他病害の同時防除が期待できます。

適用病害と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法		
み かん	灰色かび病	1000～2000倍	200～ 700 ℓ	開花期	本剤 5回 ジエトフェンカルブ剤 5回 チオファネートメチル剤 8回	散布		
	そうか病	1000～1500倍		収穫7日前 まで	[塗布は3回、散布、空中 散布及び無人航空機散 布は合計5回]			
かんきつ (みかんを 除く)	灰色かび病	1500～2000倍		1500倍	開花期		本剤 5回 ジエトフェンカルブ剤 5回 チオファネートメチル剤 8回	
	そうか病	1500倍			収穫21日前 まで		[塗布は3回、散布及び 無人航空機散布は合計 5回]	
ぶ ど う	灰色かび病	1000～1500倍		1000倍	収穫45日前 まで		本剤 1回 ジエトフェンカルブ剤 3回 チオファネートメチル剤 5回 [塗布は3回、休眠期の散 布は1回、生育期の散布 は1回]	
う め	黒星病	1000倍			1000～1500倍		収穫21日前 まで	本剤 3回 ジエトフェンカルブ剤 3回 チオファネートメチル剤 6回 [塗布は3回、散布は3回]
	灰色かび病	1000～1500倍						
か き	落葉病 炭そ病	1000倍			1000倍		収穫7日前 まで	本剤 3回 ジエトフェンカルブ剤 3回 チオファネートメチル剤10回 [塗布は3回、休眠期の散 布は1回、生育期の散布 は6回]
				収穫開始 21日前まで			本剤 3回 ジエトフェンカルブ剤 6回 チオファネートメチル剤 4回 [種子への処理は1回、 は種後は3回]	
い ち ご	炭そ病	1000倍		100～ 300 ℓ	収穫前日 まで		本剤 3回 ジエトフェンカルブ剤 3回 チオファネートメチル剤 4回	
さやえんどう 美えんどう	灰色かび病	1500倍	収穫7日前 まで		[種子への処理は1回、 は種後は3回]			
ズッキーニ			収穫7日前 まで		[種子への処理は1回、 は種後は3回]			

(つづく)

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
だいす	紫斑病	乾燥種子重量 の0.5%	—	は種前	本剤 1回 ジエトフェンカルブ剤 4回 〔種子粉衣は1回〕 チオファネートメチル剤 4回 〔種子への処理は1回〕	種子粉衣
		1000倍			100～ 300ℓ	
いんげんまめ	灰色かび病	1000～1500倍	100～ 300ℓ	収穫14日前 まで		本剤 4回 ジエトフェンカルブ剤 4回 チオファネートメチル剤 5回 〔種子への処理は1回、 は種後は4回〕
	菌核病	1000倍				
	炭そ病	1500倍				
あずき	灰色かび病	1000～1500倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	本剤 3回 ジエトフェンカルブ剤 3回 チオファネートメチル剤 4回 〔種子への処理は1回、 は種後は3回〕	散布
	菌核病	1000倍				
	輪紋病 炭そ病	1500倍				
えだまめ	紫斑病 英汚損症	1500倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	本剤 3回 ジエトフェンカルブ剤 3回 チオファネートメチル剤 4回 〔種子への処理は1回、 は種後は3回〕	散布
未成熟 そらまめ	炭そ病			収穫前日 まで	〔種子への処理は1回、 は種後は3回〕	
たまねぎ	灰色腐敗病	1000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	本剤 5回 ジエトフェンカルブ剤 5回 チオファネートメチル剤 7回 〔種子への処理は1回、苗根 部浸漬は1回、無人航空機 散布は3回、散布は5回〕	散布
トマト	灰色かび病 菌核病 葉かび病	1000～1500倍		本剤 5回 ジエトフェンカルブ剤 6回 チオファネートメチル剤 6回 〔種子への処理は1回、 は種後は5回〕		
ミニトマト		1500倍	本剤 3回 ジエトフェンカルブ剤 3回 チオファネートメチル剤 6回 〔種子への処理は1回、 は種後は5回〕			
なす	灰色かび病 菌核病	1000～1500倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	本剤 5回 ジエトフェンカルブ剤 5回 チオファネートメチル剤 6回 〔種子への処理は1回、 は種後は5回〕	散布
	黒枯病	1500倍				
きゅうり	褐斑病 炭そ病 灰色かび病 菌核病		1500倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	本剤 5回 ジエトフェンカルブ剤 5回 チオファネートメチル剤 6回 〔種子への処理は1回、 は種後は5回〕
すいか	炭そ病					
ピーマン	黒枯病	3000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	本剤 3回 ジエトフェンカルブ剤 3回 チオファネートメチル剤 4回 〔種子への処理は1回、 は種後は3回〕	散布

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
レタス	菌核病 灰色かび病	1500倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	本剤 2回 ジエトフェンカルブ剤 5回 チオファネートメチル剤 4回 【種子への処理は1回、 灌注は1回、散布は2回】	散布
キャベツ	菌核病				本剤 2回 ジエトフェンカルブ剤 3回 チオファネートメチル剤 3回 【種子への処理は1回、 散布は2回】	
はくさい					本剤 2回 ジエトフェンカルブ剤 2回 チオファネートメチル剤 3回 【種子への処理は1回、 は種後は2回】	
花き類・ 観葉植物 (ひまわり、 ゼラニウム を除く)	灰色かび病	1000倍	200～ 700ℓ	—	本剤 5回 ジエトフェンカルブ剤 5回 チオファネートメチル剤 5回	
ひまわり ゼラニウム	灰色かび病 斑点病					
樹木類 (ハイドラン ジア、やなぎ を除く)	灰色かび病					
やなぎ	炭そ病					
ハイドランジア	輪斑病 灰色かび病	—	—	—	—	
				感染期～ 発生初期		
				—		
				感染期～ 発生初期		

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- ぶどうに使用する場合、幼果期以降の散布は果粉の溶脱や果実の汚れを生じるおそれがあるので注意してください。
- だいたいの紫斑病に対しては、落花後～若莢期に2～3回散布してください。
- カラーおよび花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないでください。また、使用后14日間は入水しないでください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため本剤の過度の連用はさけ、作用性の異なる薬剤と組み合わせて輪番で使用してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 本剤を使用した場合には、ベノミルを含む剤を使用しないでください。ただし、種子への処理、種籾への処理および塗布処理は除きます。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■蚕 毒

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

■混用・薬害

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。
- きゅうりに使用する場合、高温時の散布では薬害を生じる場合があるので注意してください。

■安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。



- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするともに衣服を交換してください。

- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中および使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2024年10月4日現在の登録内容に基づいています。